

がん薬物療法における職業性曝露対策ガイドライン 2019年版 エビデンステーブル一覧

担当学会	CQ 番号	CQ 名	エビデンステーブル	
JASPO	CQ3	HD 注射薬の調整時に安全キャビネットまたはアイソレーターを使用することが推奨されるか	閲覧[CQ3.pdf]	
	CQ4	静脈投与以外のHD 注射薬は、安全キャビネット(BSC)又はアイソレーター(CACI)を使用して調製することが推奨されるか	閲覧[CQ4.pdf]	
	CQ5	安全キャビネット(BSC)等の資料状況下において、全てのHD の調製に対してCSTD の使用が推奨されるか	閲覧[CQ5.pdf]	
	CQ6	HD の調製者に対し、PPE の使用が推奨されるか	閲覧[CQ6.pdf]	
	CQ7	安全キャビネットの清掃に分解薬は推奨されるか	閲覧[CQ7.pdf]	
	CQ8	シュリンク包装された HD バイアルを使用することは曝露対策において推奨されるか	閲覧[CQ8.pdf]	
	CQ9	HD の調製者だけでなく、HD の取り揃え者、運搬者、鑑査者および HD 調製室の清掃者に対しても個人防護具(PPE)の使用は推奨されるか	閲覧[CQ9.pdf]	
	CQ10	HD の外装に触れる際はPPE の使用が推奨されるか	閲覧[CQ10.pdf]	
	JSCN	CQ11	HD 静脈内投与時のルートにCSTD を使用することは、推奨されるか	閲覧[CQ11.pdf]
		CQ12	HD 静脈内投与管理にCSTD を使用していても、個人防護具(PPE)を使用することが推奨されるか	閲覧[CQ12.pdf]
CQ13		HD の腔内注入において、CSTD やPPE を使用することが推奨されるか	閲覧[CQ13.pdf]	
CQ14		HD 投与を行う環境や床清掃の際には、界面活性剤の使用が推奨されるか	閲覧[CQ14.pdf]	
CQ15		HD を投与した患者の皮膚に接触する場合の曝露対策として、PPE の使用は推奨されるか	閲覧[CQ15.pdf]	
CQ16		HD を投与した患者に使用したりネン類で明らかな体液や排泄物等の汚染が見られる場合は、区別した取り扱いをすることが推奨されるか	閲覧[CQ16.pdf]	
CQ17		HD が飛散、こぼれた時の不活性化に次亜塩素酸ナトリウムの使用は推奨できるか	閲覧[CQ17.pdf]	

JASPO:日本臨床腫瘍薬学会 JSCN:日本がん看護学会 JSMO:日本臨床腫瘍学会